

# 軽量小型で熱中症予防

## 目品 注製

### アクアシステム AQplus「ハイブリッド式送風機」

アクアシステム(本社・滋賀県彦根市、木村匡伸社長)のAQplus(エーキュープラス)ブランドで展開する「ハイブリッド式送風機」は、風量が3調節、最大毎分約71立方分で空気を一気に循環させる。重さは約7・5キログラムで、積み降ろしなど屋内外の現場を問わず、作業員の熱中症予防に役立つアイテムだ。

ハイブリッド式送風機は、幅62×奥行き32×高さ62センチの据え置き型。風力は強・中・弱に切り替えられる。一般的な業務用送風機と比べて一回り小さく、サーキュレーターより大きいがダイナ

### 持ち運び可で場所問わず

ミックな風量が持ち味。増田明営業部長は「女性を持ちやすく、パワフルな機能が特長」と話す。

電源は、コンセントからコードで接続するとともに、リチウムイオンバッテリーを搭載し充電式にも対応する。1回当たりの充電時間は約1時間で、連続運転時間は風力強で約3時間、中は約4時間、弱は約9時間と使い勝手が良い。

羽根には樹脂を採用し、回転音を抑えた。強い運転時は約63デシベルと声を大きくすれば会話できるレベル。中・弱は、約57〜51デシベルと普通の会話が可能で、「自社倉庫での運用検証では、作業員間のコミュニケーション」に支障はない(増田部長)という。

今夏は10年に一度と呼ばれる酷暑が続き、現場では熱中症対策が急務だ。トラックの積み降ろしでは、荷台に暖気が充満するため同送風機を持ち込むことで負荷は軽減される。また空調設備がない庫内作業でも、複数台の運用で空気を入れ替えると熱中症のリスクは下がる。物流現場で活躍のフィールドは広がりそうだ。

販売価格は1台1万4800円(税込み)から。

(遠藤 仁志)



AQplus「ハイブリッド式送風機」をコンテナ内に設置し、作業環境を改善する